

サイエンスキャンプ2004・受講生感想文紹介

前回のニュース13号で紹介した「サイエンスキャンプ2004報告」について、参加した高校生のうち、東京都立新島高等学校 3年生 宮川香菜子さんの感想文を紹介いたします。

「牛の赤ちゃん」

私はこのサイエンスキャンプに参加できて本当に良かったです。普段体験できないことや学ぶことの無いことがたくさんありました。

一番楽しかったのは搾乳でした。私は牛を見たことはありましたが、触るのははじめてで牛の肌に触ってこんなに暖かいものなのだという事に驚きました。搾乳もイメージと違いました。牛のお乳はもっと皮膚が厚くてもっと硬そうに見えたんですが思っていたよりも薄くて袋のようなものでわかりました。

その次の牛のお腹にいる赤ちゃんをみることは、私にとって貴重な体験でした。最初見たときは驚きましたがやってみるとあまり気になりませんでした。腸が意外に柔らかかったのが驚きました。はじめは、なかなか赤ちゃんのいる場所がわかりませんでした。教えていただいて頭らしいものがわかりました。その話を帰ってきてからいろいろな人に話すと驚かれます。

においの実験では、持っていったくさやを使っ

ていただきました。私には慣れている臭いでも普通の人からすればやはり臭いのだということがわかりました。実験では、においの強さを測りました。パネルのテストは緊張しました。その後の臭いを嗅ぐ実験では、オペレータのときは簡単そうに見えたのですがパネルになってみるとぜんぜんわかりませんでした。

体験や学んだ事以外にも私が参加できて良かったことは、いろいろな人に会えたことです。いろいろな人と話をするのができて、今自分がどれだけ狭い所だけで生活していたかわかりました。

私はこのサイエンスキャンプを通して、本当にたくさんの事を学び体験させていただきました。このことは将来の自分にとっても役に立つことだと思います。参加させていただき本当にありがとうございました。

東京都立新島高等学校 3年生
宮川香菜子